

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（一般研究）

研究代表者 所属・職名 学校教育学系・准教授
氏 名 白神 敬介

研究期間 平成28年度～平成29年度

| | |
|----------------------|--|
| 研究プロジェクトの名称 | 附属幼稚園の預かり保育についてのプログラム評価研究 |
| 研究プロジェクトの概要 | 近年の社会情勢のなかで幼稚園は多様な役割が期待され、そのなかの子育て支援のひとつとして預かり保育が位置づけられている。本研究は、質の高い預かり保育の実現のため、上越教育大学附属幼稚園で行われている預かり保育について、プログラム評価の枠組みから検討を行い、預かり保育の質の向上のための評価指標の構築を目的とする。 |
| 研究成果の概要 | 平成28年度から平成29年度に継続して、主に関係者への聞き取り調査とアンケート調査を実施した。附属幼稚園関係者への聞き取りを1か月に1度程度の頻度で継続的に行い、プログラム評価を行うための情報収集と記録を行った。また、預かり保育事業を評価するための測定項目を試行的に作成し、この項目を用いたアンケート調査を秋と春の二回にわたり、附属幼稚園の利用者（保護者）に対し実施した。アンケート結果は整理・分析を行ったうえで、報告書を作成し、附属幼稚園関係者ならびに保護者にフィードバックを行った。また、平成29年度においては、預かり保育が子どもに与える影響についても分析対象とするため、附属幼稚園の夏季休業期間での預かり保育の実施場面に対する観察調査を行った。これらの調査を通じて、預かり保育について行われた施策が有効に機能している結果が示された。また、今後の預かり保育の実施におけるいくつかの課題が具体化された。その課題のひとつが預かり保育の保育内容の在り方の検討である。各関係者が考える預かり保育への期待や位置づけを共有したうえで、保育内容の検討を進めることが、今後の預かり保育を質の高いものにしていく可能性が示唆された。 |
| 研究成果の発表状況 | 日本発達心理学会第28回大会（2017年3月）にてポスター発表を行った。 日本心理学会第81回大会（2017年9月）にてポスター発表を行った。 日本発達心理学会第29回大会（2018年3月）にてポスター発表を行った。 |
| 学校現場や授業への研究成果の還元について | 本調査は上越教育大学附属幼稚園との共同のもと行われた研究であり、附属幼稚園預かり保育園の質向上に寄与した。また、本研究成果は、預かり保育を実施する各保育・幼児教育現場に対して有用な知見を提示するものと考えられる。 |